



ステップ1

大項目	③日常生活に必要な基本動作
小項目	【1】路面に注意を払いつつ歩く
タイトル (教材名)	凸凹道を歩こう
目的 身につけて欲しい力	路面を視認し、形状に合わせて歩くことができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>マットの下に様々なものを入れて凸凹の状態を作る。</p> <p>マットの下に入れるものとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空気を抜いたファンクションボール、 ○バランスディスク ○三角マット ○竹の棒 など <div style="text-align: center;">  </div>
教材の使用方法	<p>最初は壁際にマットを敷き、壁に手をついたり、手すりを持ったりしながら歩く。</p> <p>次に指導者が手をつないで歩く。</p> <p>最後は一人で歩く。</p> <p>また徒歩中は足元の凹凸の特徴を伝えるような声かけをする。(例)高くなってるよ！ マット下に入れるものの質や高さ、位置を変えることで難易度を変えることができます。</p>
その他	

ステップ2

大項目	③日常生活に必要な基本動作に関すること
小項目	【1】路面に注意を払いつつ歩く
タイトル (教材名)	足形に合わせて歩こう
目的 身につけて欲しい力	足型を注視し足型の通り歩くことができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>廊下や教室に足型を置きその通り歩く。</p> <p>100円ショップで売っているシート型の便座カバーを足型に切る。 平らな面であれば接着剤を使わなくても面に張り付くので使いやすい。</p> 
教材の使用方法	<p>直線からはじめ、曲線・カーブ・ユーターンなどを組み合わせることで難易度を上げることができる。</p> <p>たくさん並べておいて、赤色の足形を選んで歩くなどをすると難易度を上げることができる。</p>
その他	

ステップ3

大項目	③日常生活に必要な基本動作に関すること
小項目	【1】路面の標識を意識する
タイトル (教材名)	足形を見つけて止まろう
目的 身につけて欲しい力	路面にある足型を見つけ歩みを止める。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>散策時など足型のストップマークを見つけ止まる。</p> 
教材の使用方法	「右足ピタッ!」、「左足ピタッ!」などの分かりやすい音声をつけると理解支援になる。
その他	